

■開催趣旨

防災・減災のために、家庭で・地域で・子ども会で何ができるか  
何を備えるか、次代を担う子どもたちに伝えるためにみんなで考える

■期日

2014年9月28日(日) 13:30~16:20(2時間50分)

■会場

神戸市須磨区役所 4階 多目的会議室

■参加者

34名 (小学生4年生1名、中学生18名、高校生青少年リーダー4名、  
大学生2名、小学校教師2名、子ども会育成者7名)

■概要

阪神・淡路大震災当時のまちの様子をスライドショーで鑑賞し、  
被災体験を語り部(講師)に聞いた後、防災・減災に向けて、  
家庭や地域や子ども会でできることを全員参加型の意見交換で考えた

■実施スケジュール

時間	内容
13:30	あいさつ つなぐ手プロジェクト実行委員 神戸市子ども会連合会会長 猪熊修
13:40	オープニングスライド 「阪神淡路大震災って…」
13:50	語り部によるお話し 「防災の心得」
15:00	全員参加型即答フリップ方式ディスカッション 「考えてみよう!子ども会でできる災害への備え」
16:20	終了・事務連絡 神戸市子ども会連合会会長

■語り部

元兵庫県防災監  
青砥謙一氏

■ワークショップ運営チーム

ファシリテーター 一般社団法人兵庫県子ども会連合会  
事務局長 浅見真一  
スタッフ・記録 青少年活動リーダー 5名

■会場の様子



語り部のお話し



ディスカッション

■参加者の感想

- ・今後生かしていきたい
- ・話し合いをすることが大切
- ・個々の心構えが大事
- ・こういう学習の大切さを知りました
- ・いままでこのような話し合いがなかった。こういうふう  
に家の近所のみinnで話し合ってみよう
- ・学校でも防災学習やっているけど、こういうのをやって  
ほしい
- ・楽しかったです
- ・自分の甘さが身にしみました
- ・防災訓練は大切だ!形だけにならないよう身を入れよう